



愛知板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

平成十年 「新年懇談会を 盛大に開催」

名古屋板金連合会担当

平成十年、愛知県板金工業組合新年祝賀会が一月二十三日（金）「名古屋クラウンホテル」（名古屋市中区栄）において開催された。従来は日曜日であったが、

今回、金曜日に開催したにもかかわらず、百九十四名もの方々に出席を賜り、午後三時開宴した。名古屋板金連合会副会長恩田勝義氏の司会により進行し、連合会相談役長谷

川信俊氏による開会の辞、連合会長鷺見收氏が歓迎の言葉を述べられた。
県板を代表して、村上章理理事長より新年のご挨拶を頂いた。公共工事予算をカットされるが、愛知県は中部新空港・愛知万博で、板金業界に弾みがつくことを願いたい。また県板各種委員会の活動を活発にしたいものである。

ご来賓の方々も多数出席され、前衆議院議員片岡武司氏始め、四名の方から挨拶を頂き、また、前理事長平野弘氏からは秋の叙勲（勲五等瑞宝章）受章のお礼の言葉があった。

続いて、来賓紹介・祝電披露の後、愛知県重鉛鉄板間屋会長、神谷文夫氏の乾杯の音頭で、宴会が賑やかに始まった。



愛知県板金工業組合
村上 章理理事長あいさつ



名古屋板金連合会 鷺見 收会長あいさつ

つつがなく進行された新年懇親会だが、鷺見会長はじめ、名古屋板金連合会組合員の皆様の、大変な苦勞なものがあった。例年なら、一月第三日曜日と聞いているが、名古屋で二百名を収容する座敷は、なかなか無いそうだ。準備時間も相当必要だったようだし、会場の都合上、平日になり、出席人数減を心配された様子だが、さすが名古屋と言わせる綺麗なコンパニオン嬢の洗練された接待、あんなに身近

で観れて、一流のマジックショウと心にくい演出でした。
次回開催ブロック代表、尾張板金連合会会長、細野清氏が、来年も元気においしめようと挨拶され、柳川製鋼名古屋営業所、安藝富二男氏が、昨年に続き、中締めを受け持たれた。閉会の辞は、名古屋板金連合会副会長、鈴木準一氏が述べられ宴を閉じた。

名古屋板金連合会の皆様、心温まる接待、ありがとうございました。御礼申し上げます。
尾張連合会会長細野清氏はじめ、組合員の皆様、来年はよろしく願います。

東三 吉田



懇親会風景

～～ 第50回全国建築板金業者熊本大会旅行行程表 ～～ 平成10年 5月19日(火)～5月20日(水) 2泊3日

日次(曜)	行	程
1 5/19 (火)	ANA223 名古屋空港 10:00頃	福岡空港＝太宰府I.C＝八女I.C＝柳川(食)御花史料館 柳川下り 15:00 ＝八女I.C＝植木I.C＝菊池温泉(泊) 菊池観光ホテル 16:30頃
2 5/20 (水)	菊池温泉 9:00	熊本市内 10:10 水前寺公園城趣園(食) 11:30 市内グランメッセ熊本に於て 12:00 (全板大会) 赤水温泉(泊) 阿蘇白雲山荘 17:00頃
3 5/21 (木)	赤水温泉 9:00	阿蘇山西 10:00 ロープウェイ 4分 阿蘇(食) 12:10 熊本I.C＝太宰府I.C 13:00 太宰府天満宮 15:00 福岡観光会館(食) 16:20 福岡空港 17:50 名古屋空港 20:00

※ 宿泊 1日目(5/19) 菊池温泉 菊池観光ホテル TEL 0968-25-2111
2日目(5/20) 赤水温泉 阿蘇白雲山荘 TEL 0967-35-0111

第50回全国建築板金業者熊本大会

大会は、平成10年5月20日(水)「グランメッセ熊本」において開催されます。
愛知県板金は左記の行程で組合員の皆様と参加したいと準備しました。多数の参加を願っています。
お申込は、各支部長へ参加費を添えて申込んで下さい。

◆参加費 金9万7千円(大会参加費を含む)
◆申込締切 平成10年2月20日

愛知県鉛鉄板問屋会

新年賀詞交歓会

愛知県鉛鉄板問屋会（神谷文男会長）は、一月九日午後五時よりホテルキャッスルプラザに、正会員・賛助会員・来賓あわせて百十余人が参集して、恒例の新年賀詞交歓会が賑やかに開催された。

組織の編成変更から、数年を経て、年々出席者も増し、愛知県板も三役五人が招かれた。

年明け早々の交歓会でもあり、年頭の挨拶を交わす姿が会場各所で見られ、不況の中にも明日への活力を感じた。

問屋会を率いる神谷会長は、年頭の言葉で始まった挨拶の中で、新年早々の集りなどで言われる不況・不景気の言葉は、ほとほと聞き飽きた、今年はこの様な事は口にしないようにしたい。この踏ん張り所で供給メーカー・流通問屋・施工業者が英知を出し合って自主防衛、自主努力をしなければ成らない。そして「企業は生物」である、読み方を変えれば「なまもの・いきもの」などになり、鮮度や活力が第一であるから、企業も同じことで、活力のある企業経営に弛まぬ献身と共に「企業は永遠」であると結ばれた。

つづいて、愛知県板村上理事長は、日頃のお礼と、今年も変わらぬ協賛をお願いした。また寅年にちなんで、勇猛な虎のように駆け巡り、不況打開を寅年にかけての意気込みをこめて祝辞を述べた。

模範店も並んだ立食パーティーに、アトラクション「森久」の歌声も流れ、話し合いも弾んで、和やかに進められ、伊藤嘉邦副会長の宇宙からの囁き・宇宙の呼び掛けのユニークな閉会の辞で、盛会の内、平成十年新年賀詞交歓会を閉幕した。

(S)

安全対策は
家庭の幸せを生む

早いもので、平成になって10年目を迎えました。最近の国内の動向を視る時、景気の回復は一向に進まず、日本列島は、冷え切った状態が続い

ており、一体このまゝでは不安が募ることしきり、それらに並行して、昨年は労災事故が依然として多く発生し、尊い命が失われ他人事とは思え



ぬ心境で、胸がつまります。

当県板の組合員に於いても昨年の労災事故は50余り発生し、事務処理に終われ、関係する労基署より厳しい指摘を受け、徹底して安全指導の強化の勧告を受け、早急な対応を求められている現状です。

平成9年度内に発生した事故の内容は左の通り、

一、足場より足を滑らし負傷
一、屋根の段差で足を滑らし転倒、親指を負傷
一、脚立及び梯子より転落負傷
一、釘打機を修理中、誤射にて母指及び右足膝を負傷
一、材料を運搬中つまづき転倒し肘を打撲し負傷
一、モルタルの破片が目に入り負傷



一、鋼材を加工し組立中、誤って両足の上に落ち負傷
一、トタンの端部に身体の一部が触れ負傷
一、壁材取付中既に取付済の材料に挟まれ負傷
一、前方不注意によりステンレス棒に触れ、目と眉に当り負傷
一、スレート屋根を踏み抜き墜落し死亡

多種多様に渡っての事例を列記しましたが、発生の原因を分析するに、次の項目の要因によるものが多く、先づは保護具の未着装、危険予知の未実施、手元確認、足元確認これらの災害の要因を見るに、ルール違反が圧倒的多く、驚きを隠せないのだが、出来れば、安全の手法を、最寄りの教育機関で受講される事をお勧め致します。一旦事故が発生すると膨大な損失となり、事後処理や工事中断など、周

県板青年部

第20回全国建築板金競技大会の講習会を開催

囲に迷惑を掛けるばかりでなく、信頼性を損う事となる。

一方問題が発生した場合は、四重の責任が課せられ、(一)刑事責任、(二)行政責任、(三)民事責任、(四)社会的責任が重くのしかかり、安全衛生法に違反した時は、行為者を罰するほ

か、災害原因の状況によっては、罰金刑を課せられる事もあり得るので、十分なる注意を促したい、企業の繁栄には、家族の笑顔に勇気づけられ、安全第一を優先し、事故防止に最善を尽して頂きたいと願うものです。

沼澤

県板青年部（河田雅彦部長）は、去る十一月二日(日)、十一月九日(日)の両日、岡崎技術工学院に於いて、来る平成十年二月十七日(火)、十八日(水)静岡県静岡市登呂三一一三五にある「ポリテクセンター静岡」にて実施される、第二〇回全国建築板金競技大会の「図面」と「実技」の講習会を開催しました。十一月二日(日)は『技能競技の部』の課題である「水屋流し」（一昨年の課題と同じ物）の展開図について石原晴久氏（岡崎）を講師にお願いして講習を実施しました。

十一月九日(日)は、『建築技術の部』の施工図。（レストランの新築工事）について、松代一郎氏（名古屋西）を講師にお願いして講習を受けました。今回の課題は、図面が六枚ある点、及び注意点の中に（本課題の趣旨は、きれいに作図することのみを目的とするのではなく、斬新な発想等を問うものである。たとえばフリーハンド等の自由な表現方法も可とする。）とあるなど前回（第一九回）と同様の内容になっていますが、一点工程表を作成する事が付け加えられています。また、今回の講習会に、高柳一男県板副理事長から色々な作図上のアイデアをいただきました。

この日は、施工図講習会と同時に進行で午前九時より「水屋流し」の実技講習会を実施しました。これは銅板〇・四×三六五×一一二mmを使用するものです。県板青年部は、来る平成十年一月十一日(日)、午前八時三十分より岡崎技術工学院にて、愛知県予選（名古屋ブロック担当）を開催し、各部門二名の選手を全国大会に送る予定です。

豊田・松井

▼新問屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会

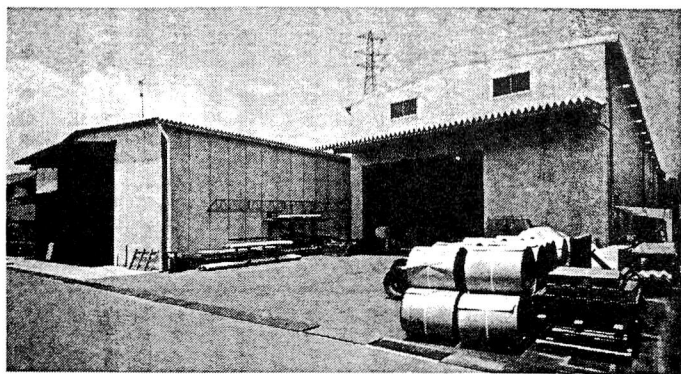
会員会社紹介

第十四回 中日鋼材株式会社



▶代表取締役社長
柴田 二良氏

男、柴田二良は十九歳で海軍に志願して入隊、巡洋艦「三隈」や航空戦艦「日向」などに乗船の後、航空戦艦「伊勢」に乗り組み、昭和十九年十月、日本軍の「捷一号作戦」に参加、瀬戸内海から豊後水道を出て南シナ海へ出撃していった。



本社 社 屋

フィリピン北方では五波の空襲で、延べ三百機近くの敵機と交戦し、近くに落下した爆弾は約三十発、魚雷は六本であったが、命中弾がなく無事に帰投した。その後航空戦艦「伊勢」は呉に係留、昭和二十年三月から七月二十八日まで米軍の空襲で十八発の直撃弾を受け沈座した。柴田二良海軍兵曹長は帰還後、別府の病院で終戦を迎えた。今回は太平洋戦

争の激戦をくぐり抜けてこられた、柴田二良氏の会社中日鋼材(株)を紹介する。氏は終戦後、岡崎の(株)富士商店に入社、営業などに携わり、昭和四十六年七月に、J.R.岡崎駅西口南九百メートルに、独立して中日鋼材を起す。以下に会社の概要を紹介する。

商 号

中日鋼材株式会社

創 業

昭和四十六年七月一日

創業地

岡崎市針崎町字フロ十五

創業者 柴田二良

会社設立

昭和四十六年十月十五日

本社所在地

岡崎市針崎町字フロ十五

代表取締役 柴田二良

大正七年五月二十日生

資本金 一千万円

従業員 男子 二十二名

女子 十名

合計 三十二名

敷地面積 五千六百三十二㎡

建屋面積 三千四百九十二㎡

営業項目

一、鉄鋼二次製品成型加工

二、非鉄金属類販売加工

三、建築及び資材卸販売

会社のモットー

今日一日 怒らず、怖れず、悲しまず、正直、親切、愉快に力と勇気と信念を持って自己の責務を果たせ。 驚見

愛板新年懇親会を担当して

一月二十三日、名古屋クラウンホテルにおいて、懇親会を行いました。名古屋ブロックの今年最大の行事を、驚見連合会長を中心に打合せ、会場設営、来賓との交渉、式次第の作成、役割分担、司会進行、宴会係、道路案内、受付と連合会役員及び支部の皆様を補佐に加えて行った。前衆議院議員、片岡武司様を始め、沢山の来賓を迎え、総参加一九四名、十五時、恩田副会長の司会で、長谷川名古屋板金連合相談役の開会の辞、驚見名古屋連合会長による歓迎の言葉で「参加人数一九四名は最多記録と思います。」と挨拶した。村上県板理理事長他、来賓の方々のお祝いのお言葉をいただきました。

いやら、私自身大変な思いをしました。全部の方を紹介できず申し訳ございませんでした。連合会長をはじめ役員の方マジックの松浦大海さん、コンパニオンやクラウンホテルの担当の方に協力いただき、有難うございました。最後に来賓控室でお茶の接待を下された、驚見連合会長の奥様にお礼を申し上げます。今回無事終了した事は、こんな影の力があつたからと思います。 西・鈴木

今回、宴会にはアトラクションとして、松浦大海氏のマジックショーを取り入れられました。次から次へ出てくる白いハト、段々小さくなるトランプ、美女の入った小さな箱に刀を何本も刺したり、一瞬の内に緑のドレスが真赤なドレスに変わってしまった。会場からも二人が参加し、コインマジックやトランプも盛大な拍手があり、とても楽しい 三十分



新年会 大成功

名古屋板金連合会
役員のみなさま

◆◆◆寅・虎◆◆◆

本年は寅年とのことですが、十二支の中で寅は世の中の事象によく引用されている干支は他にありません。以下を虎に関する思いをつきを。

諺に「虎は死して皮を残し、人は死して〇を残す」があります。昔のように、世のため人のためという偉い人は先ず出ないようで、国民が認めるような「名」も残らない人ばかり。記念館まで作ってもらえる葛飾柴又の寅さんの方がよほど有名だ。

「虎の威をかる狐」ところが、最近では虎の威にも偽者が多いようです。真贋の見分けのつかない威張りたがり屋が、「威」を借りたつもりが通用せず、失言してすぐに辞任したり、あるいは賄賂をもらい、××ルートに乗って高い塀の中に入る人も多々。狐も笑っているでしょう。

巨人×阪神戦はプロ野球の名勝負と言われたが、プーヒーとは「虎」も泣いているでしょう。

我がひいきする架空の干支のチームはさらに最下位。昨年はシーズン半ばから腹立たしくて野球中継を見るのを止めてしまった。楽しみの少ない昨年であった。野球の世界も厳しいようで、我がチームの看板打者でさえトレードでタイ

ガースへ。非情とさえ思える。虎は喜んでるのだろうか。

P G A に慧星のように現れたタイガーウッズは賞金王の年少記録をつかった。虎が住む国の血が流れ、名前まで「虎」だから強いのか。親は多分そう望んで名前を付けたに違いない。もしそうであれば、縁起をかついで最高に成功した一人であろう。「虎の巻」でもあれば欲しいものだ。

私と同年の知人に三十才台にして一千万円貯めたのがいた。いわゆる「虎の子」である。どうやって貯めたかはシャクだから聞かなかったが、当時は七割の利息の付く時代。「車の買い換えは利息で間に合う」とうそぶいていた。

今では夢の話。久しく会っていないが今どんな車に乗っているだろうか。

今や先の全く見えない経済情勢。その上タタ同然の利息となれば庶民の財布のひももかたくなるのは無理もない。

かつて、金融機関は「虎穴に入らずんば」のつもりで投資したが不良債権という「虎子」を得てしまった。

大蔵省は市中金利を安くし、銀行の不良債権の短兵急な処理の片棒を担いでいる。各銀行は年間何百億円の債務処理

津島支部新年会

津島支部は、平成十年一月五日に恒例の安全祈願祭及び新年会を行いました。午後二時より平野支部長始め、組合員十六名が、津島神社にて御祈禱を受けました。支部長以下代表五名が、神殿にて御祝いをし、もらい、最後に全員に御神酒をいただき、約三十分程で無事安全祈願祭を終えました。



津島支部のみなさん

その後四時より、津島の料亭河満にて新年会を行いました。残念ながら村上理事長は他支部の新年会出席のため、参加いただけず、県板からは吉田専務理事を招き、平野支部長、そして吉田氏から挨拶の言葉をい

をしているが、この金は本来庶民の懐に入る利息である。

景気の良くならない一因を庶民の財布のひものかたさにかこつける人がいるから困ったものだ。鶏と卵のどちらが先かの問題である。このあたりで「虎の尾を踏む」くらいの大改革が欲しい。庶民はせいぜい「虎の御曹司」を大事にしましょう。

そして、今年こそは「虎」のような勢いの良い年になるのを願って止みません。

専務 吉田

1月各支部の動き

中村支部	20日	新年懇親会	16名
中支部	11日	吉田専務を招いて南宮神社参拝後新年宴会	14名
熱田南支部	17日	支部定例会	10名
津島支部	24日	青年部新年会	5名
一宮支部	5日	津島神社祈願新年宴会	16名

編集後記

新年恒例の各行事などに追われているうちに一月も終りに近づき、各地からちらほら梅花の便りが届く頃となった。年が改まり人の気持ちの区切りと年代の節目から、それぞれ恒例の行事が行われる。

伝統的なことや団体などの新年行事は別として、個人的な関係の中には、そろそろ取り止めてもいいようなものが無きにしても有らずである。

お目出度い席でもあり例年の事であるから心得ては居るものの何となく日頃の生活リズムが狂うのも事実である。

この一ヶ月、各所の新年の催しに出席させていただいたが挨拶の中で必ず出て来る事にまず、不況・不景気、次は寅年にあやかったの躍進、そして中部国際空港と愛知万博、空港と万博で中部圏の発展と活性化で景気回復などなど。

自然環境・騒音・漁業対策など未解決の問題が山積して居るのに、きれいなことを並べ立てる挨拶に飽き飽きした。今年も新年早々から腹の立つ事が多そうだがチャレンジ精神を忘れないよう頑張ろう。

一月二十八日(木) 晴
三二四号 編集会議
委員 十三名 出席
東三・豊川出張会議 (s)